

# 新年の ごあいさつ

山陽小野田市長 白井 博文



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちあふれた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、山陽小野田市が誕生して、この3月で早や丸2年になろうとしています。

この間、危機的状況を迎えた財政問題に対処するため、行財政改革に鋭意取り組んでまいりましたが、一方で、市民の皆様にはご負担とご辛抱をおかけすることになり、大変心苦しく思っております。しかしながら、もうしばらくの間は、ご理解とご協力をお願いいたします。

昨年は、“双子の赤字”と言われた「山陽オート」と「市民病院」について、解決に向けての一定の方向性を打ち出すことができました。また、合併1周年記念行事「市民ふれあいの集い」や第1回「山陽小野田市民まつり」の開催、山口県立おのだサッカー交流公園のオープンなど明るい話題も多々ありました。

さて、迎えた平成19年は、引き続き行財政改革への取組みのほか、山陽小野田市の道標とも言うべき「第一次山陽小野田市総合計画」を策定し、「活力ある住み良さ創造都市」の実現に向け第一歩を踏み出すこととなります。

本年は、私にとりましても市長として任期4年の折り返しの年となります。厳しい向かい風に負けないよう、今後も市民の皆様の声をお聞きしながら、これまで以上に汗を流し、愛するふるさとの再生に向けて、取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうか、引き続き市政に対して力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様におかれましても、本年が幸多い年になりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。